

2024年11月6日（水）に開催いたしました。

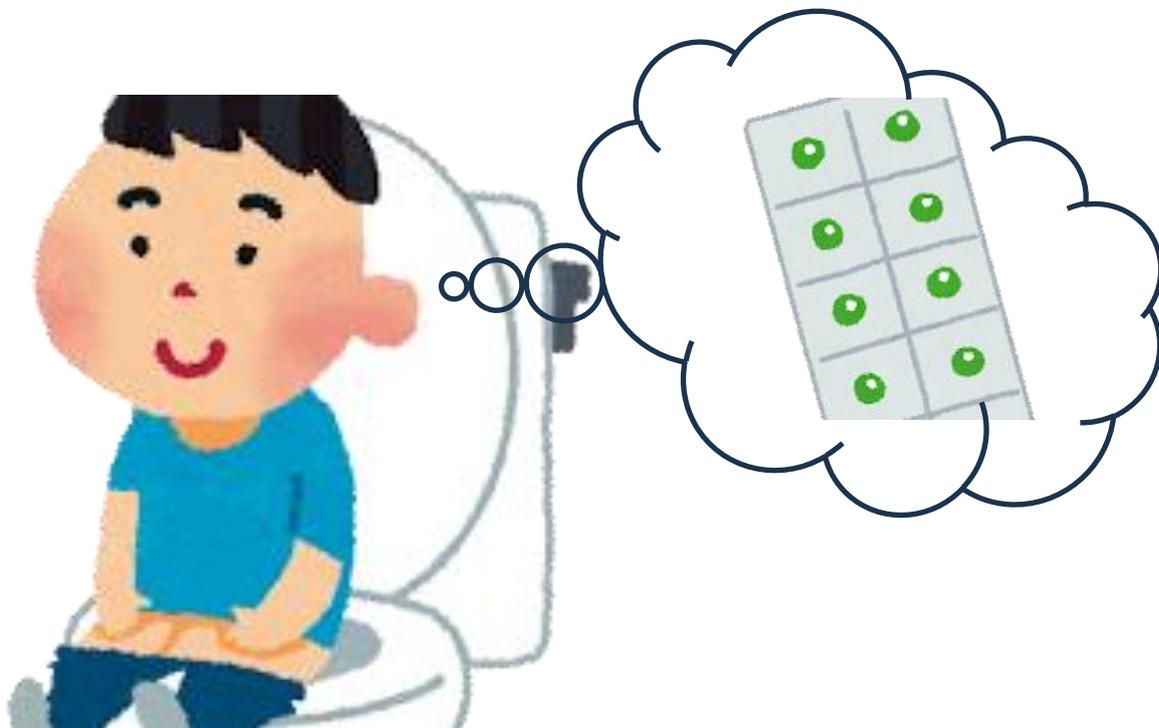
1名の方がいらっしゃり、薬剤師が相談に対応しました。
ご来局いただきありがとうございました。

もらった薬の使い方

お医者さんからもらったお薬のうち、頓服薬といって「必要な時に必要な量でお薬をつかってください」といわれるお薬があります。今回ご相談があったAさん。便秘が気になって2種類のお薬を使ってみたものの、お薬の効果がなく追加を考えられたとのこと。しかし、1回量を超えてしまうし、1日何度使ってよいかわからない。また追加しただけで今の症状が治るのか不安ですとのことでした。

ご体調の状況、これまでの服用状況や排泄状況を伺って、すこし時間を離して追加を検討すること。また、生活習慣で運動や飲水の必要性や体の冷え改善などをご説明して様子を見るようにお話いたしました。

お薬には、調整するために、飲む量の設定が何種類かあるもの、また同じ便秘でも、どのような便の状態か回数などの確認、また生活習慣を加味することでお薬の選択する成分が変わります。薬は緩やかに効果を示すものも、過量に摂取すれば毒になります。今回のように薬剤師に相談いただいて、薬を正しく使用することが大切です。



中央薬局では、災害や新興感染症の発生時など、行政や地域の医療機関と連携して、医薬品供給や衛生管理に係る対応ができる体制を確保するように努めています。